

## 昨年12月10日の車両故障の原因について(ご報告)

昨年12月10日(火)午前6時55分頃、神辺駅発・総社駅行きの上り列車(1両、乗客約50人)が、三谷駅から備中呉妹駅に向かって走行中、エンジン付近から突然白煙を出すという車両故障を起こし、それに伴う運休やタイヤの乱れで、多くのお客様に大変ご迷惑をおかけしました。

その故障原因の調査を、エンジン製造メーカーに依頼しておりましたが、ようやく結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

### 記

#### 1 原因 エンジンに附属する「排気ターボ過給機」のプロペラ軸折損

排気ターボ過給機の吸気プロペラが金属疲労により破損し、プロペラ軸の折損を引き起こしたものと推定されました。

白煙の発生は、プロペラ軸の折損部分から漏れ出た潤滑油がエンジン内で燃焼したことが原因であると推定されました。

\* 排気ターボ過給機は、排気ガスでタービンを駆動させ、エンジンに供給する空気を圧縮し、シリンダー内の燃料噴射量を高めることにより、エンジン出力の増大と燃費向上を図るもの。

#### 2 今後の対応

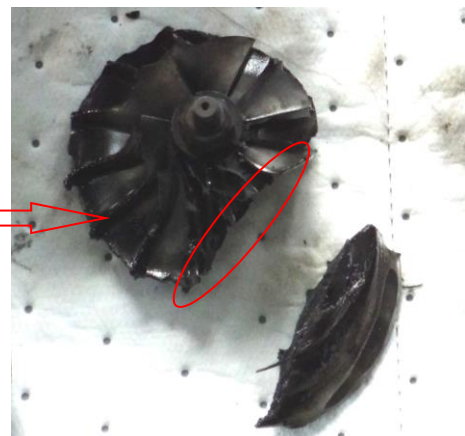
現在は、耐久性に優れたプロペラが開発されており、当該故障車両(102号)に加え、旧タイプのエンジンを搭載している残り3両(01号, 05号, 08号)についても、早急にプロペラの取り替えを進めます。



車両下部の取付状態



プロペラの破損状態



プロペラを取り出して撮影